



# 鳥海なおき 市政報告

とり うみ

## 教えて 東小学校跡地パークゴルフ場整備の真相に迫る!?! 21億もかからない!?! パークゴルフ場の整備は約8億円!

### Q. パークゴルフ場の整備に21億円もかかるってほんと?

パークゴルフ場のコース整備費は令和4年10月現在で約8億6,540万円であり、地域住民の方のための避難所である複合施設を含めても事業費の節約によって、**総額21億円にはなりません**

#### 【金額の内訳】

#### ◆令和4年3月現在

総事業費で当初予算額：約21億6,220万円

①パークゴルフ場整備事業	約11億6,400万円
②複合施設整備事業	約8億9,550万円
③体育館解体工事	約1億270万円

削減努力の結果

#### ◆令和4年10月末現在の見込み額

約17億180万円

①パークゴルフ場整備事業	約8億6,540万円
②複合施設整備事業	約7億3,370万円
③体育館解体工事	約1億270万円

もっと減額の可能性あり!

現状では、▼4億6000万円減ですが既に決まっている工事の造成費、雨水貯留槽工事以外は令和5年度から6年度執行予定なので、これから数億円単位の更なる総事業費が減額していき、過去の競争入札落札率の傾向からすると総事業費は**15億円前後**になる可能性もあります。

### Q. どんな経緯で整備することになったの?

平成26年に地域の方々に愛された東小学校が閉校して以来、地域コミュニティの維持の為、跡地利活用を求める要望を地元の方々から頂き、長年にわたって協議してきました。学校の跡地利活用はこれまでも、その**地域住民の方々の意向を優先**に行っています。

◆これまでの地元説明会は10回以上!丁寧な地元との協議を進めてきました!  
豊住・久住地区の学校跡地利活用においても、同様な形で進めているのが現状です。  
地域コミュニティの核が無くなってしまふのは大変なことなんだ

### Q. なぜパークゴルフ場なの?

東小学校閉校に至るこれまでの経緯を踏まえた地域振興や、市の重要施策のスポーツツーリズム推進のためです。パークゴルフの公式大会を誘致するには36ホールが主流になります!近隣に久住、十余三パークゴルフ場はありますが、需要はあるものの狭い為、大会誘致まで至らないのが現状でした。また高齢化が進む当該地域においては、年齢層関係なく楽しめるパークゴルフは市民の健康の維持増進にもつながります。市パークゴルフ協会からはこれらの**パークゴルフ場を拡張してほしいとの要望**が長年にわたり寄せられていたこともあり、今回周辺地域の環境維持や騒音地域の地域振興として大会誘致可能な規模であるパークゴルフ場を整備しようという事になりました!

◆久住パークゴルフ18H、十余三パークゴルフ9H → 大会誘致は難しい  
近隣市町の36Hを備えたパークゴルフ場では既に国内外からの大会誘致に成功!  
パークゴルフは(町おこし)につながるという見解も!

### Q. それにしても事業費が高い気が...

**地域の防災拠点機能として複合施設を整備する為**です。東小学校跡地の体育館は老朽化が進み、雨漏りや骨組みの腐食が進んでいて防災施設とするには修繕するよりも建て直したほうがコストがかからないことが分かりました。また、これまで豊住、久住と閉校となった体育館を防災拠点化させたことはなく、有事の際には市民の方々の命を守る為今回は解体、再整備という選択になりました。地域の方々からの要望を受け、地域コミュニティ維持のための拠点としては勿論、非常用自家発電設備、防災倉庫、空調設備完備の避難所となっています。

SNSやメディア等により事業費が高額であることが特に着目され、市民および全国の読者へ情報が拡散されてきた経緯があります。市からは約10年前から事業を行うための主旨などの説明を議会でも報告を受け、議論してきたことを考えると、「21億の事業費などんでもない」という情報は**公平な視点ではない**と感じています。

本事業の主旨は

1. 閉校となった小学校の跡地利用
2. 地域の実情・意見を最大限考慮
3. スポーツ活動の推進や健康増進への寄与
4. スポーツツーリズムの推進
5. 防災倉庫や非常用自家発電機を備えた避難所など地域のコミュニティ拠点の整備
6. 地域の活性化、地域振興

なおき君が思うこと

上記6点の主な理由により、公式大会が開催できる36ホールのパークゴルフ場と複合施設を整備するというものであり、成田国際空港の騒音下にある地元住民のための「**地域振興**」という意味合いも大きく、本事業を進めてきたものであります。特に避難施設やスポーツ施設は、各地域にあるべきものであり、人口が少ないから必要がないというものではなく**無駄な施設ではありません**。

# 成田市政の未来について

令和4年9月・12月成田市議会 定例会 ダイジェスト

## 赤坂センター地区複合施設

### ニュータウン地区の親しみ溢れる施設整備の検討へ

子育て支援施設・3世代が気軽に集う場所・中央公民館施設機能サークル活動施設・コミュニティ施設・中規模の音楽ホールなどPFIの整備手法も視野へ

複合施設などの大規模な公共施設の整備等を行う際には、財政負担の軽減を図る観点から、民間資金とノウハウを活用するPFIは有効な整備手法の1つとして検討し全市的な公共施設の配置バランスやバリアフリー化への対応なども考慮するとともに、多機能を有した複合施設が、ニュータウン地区の新たな核となることで、若者や子育て世代の定住が進み、地域全体の再生や活性化につながるよう取り組んでいく。



(令和4年9月議会)

小泉市長答弁

2haの市有地に施設整備へ

## 成田市：学校給食の完全無償化へ

### 第3子以降多子世帯の無料化実施

本市では、県に先行して多子世帯における学校給食費の無料化を行ってきたところでありますが、今後実施される県の無償化支援事業の対象要件にあわせた、22歳以下及び就学の要件を不要とする対象要件の緩和を行っていく。さらに、本市独自の支援策として、アレルギー等の理由により、やむを得ず給食の提供を受けずに、毎日弁当を持参している児童生徒の保護者を対象に、給食費相当額の助成を行っていく。

また、本市における更なる給食費の無料化の取り組みとしましては、入学費用などの教育費の負担が多くなる小中義務教育校の最終学年に在籍する児童生徒の保護者や、子育てを1人で担い、経済的に大きな負担が生じている、ひとり親世帯への支援など、様々な支援のあり方について検討を行い、給食費の無料化に向けた段階的な取り組みを進めていく。

(令和4年12月議会)

小泉市長答弁



## 令和4年12月定例会 鳥海なおき一般質問より

### 小泉市長：(子育て支援)(定住人口の維持増加)(企業誘致)(交流人口)や(昼間人口)の増加の積極推進へ



日本全体の人口が大幅に減少する。そして本市だけが人口が減少するのではなく、千葉県内のほとんどの自治体、全国の自治体に共通した構造的な人口減少であることを考えると何が何でも人口増加させると考え方も限界があるものと思う。当然ながら、戦略的に世代別の増加施策やいつまでも住みやすい街として、定住・移住してもらう施策も重要であると思うが、現時点においての20年スパンにおける人口減少時代に見合った新しい社会経済モデルを検討する必要があるのでは。



#### 【小泉市長の答弁】

人口減少社会においても、本市が持続的に発展していくことができるよう、既存の観光資源の活用や磨き上げ、新たな観光資源の掘り起こしなどを行うとともに、国際医療福祉大学の開学や大学病院の開院、新生成田市場の開場などに加え、成田空港の更なる機能強化の進展や圏央道の開通などの機会を的確に捉え、今後も引き続き、子育て支援施策の充実や住環境の整備などによる定住人口の維持、増加を図りつつ、観光施策やスポーツツーリズムのより一層の推進や企業立地の促進をはじめとした「交流人口」や「昼間人口」の増加を図るための取り組みを進め、本市のさらなる発展に繋げてまいります。

### 鳥海直樹プロフィール

- 学歴 市立習志野高校 卒業  
英国国立ウエールズ大学経営大学院(MBA) 卒業
- 職歴 中央信用金庫(現東京東信用金庫)  
(株)ジェイ・エス・ピーサービス 代表取締役(現顧問)
- 経歴 昭和46年4月20日生まれ  
成田市立玉造中学校元PTA会長  
玉造地区青少年健全育成協議会 副会長  
成田市中学生文化活動活性化事業：  
外部指導者(吹奏楽)
- 市議会所属委員会  
総務常任委員会(委員長)  
新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会(副委員長)  
議会運営委員会(委員)  
広報広聴委員会(委員長)



#### 鳥海議員 一般質問資料

#### 【千葉県成田市】 将来の男女合計5歳階級別推計人口 (2015年は国勢調査による実績値)

男女計	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2020年対比
総数	131,190	132,899	133,693	133,338	131,996	129,690	126,719	▼6,180
0~4歳	6,022	5,927	5,614	5,526	5,402	5,247	5,050	
5~9歳	6,045	5,874	5,781	5,461	5,370	5,250	5,095	
10~14歳	6,045	5,300	5,880	5,777	5,450	5,356	5,235	
15~19歳	6,065	6,271	6,408	5,987	5,861	5,511	5,402	
20~24歳	7,570	7,858	7,771	7,733	7,244	7,009	6,507	
25~29歳	8,964	8,403	8,778	8,521	8,347	7,875	7,583	
30~34歳	9,495	8,258	7,817	8,138	7,876	7,667	7,259	
35~39歳	9,730	9,098	7,971	7,565	7,839	7,552	7,333	
40~44歳	10,699	9,589	8,931	7,840	7,447	7,698	7,400	
45~49歳	8,798	10,564	9,447	8,768	7,707	7,325	7,559	
50~54歳	7,580	8,758	10,461	9,331	8,640	7,603	7,233	
55~59歳	7,415	7,278	8,589	10,224	9,101	8,417	7,413	
60~64歳	8,665	7,260	7,301	8,494	10,092	8,970	8,291	
65~69歳	9,007	8,273	6,962	7,027	8,184	9,717	8,638	
70~74歳	6,400	8,490	7,797	6,593	6,678	7,784	9,237	
75~79歳							7,189	
80~84歳							5,347	
85~89歳							4,247	
90歳~							4,701	

2015年頃から25歳から44歳までの子育て世帯の多い世代は、そもそも減少予想されていただね。

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より抜粋